

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		人間発達学部
科目名称 [英語名称]	日本国憲法 [Japanese Constitution]				実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング
科目コード	120330	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1-4年次
教員氏名	井上 光由				学位授与の方針 との関連		
授業概要	<p>本授業の目的は、憲法が国家の最高法規であり、全実定法の基本法であること、国家権力を制限するものであることを理解することにある。授業では、憲法条文の基礎知識と理論習得をはかるとともに、憲法の制定過程、憲法改正問題などを考察する。また特に基本的人権について考え、判例解釈に多くの時間をかけ、憲法上の問題点を考察する。さらに私たちの日常生活で起きるさまざまな憲法的事案に対し、主体的に思考を巡らせ自分なりに解決する憲法的ものの考え方が身につくようにする。</p>						
関連する科目	法学						
授業の進め方と方法	基本的には、講義形式の授業となる。内容によっては、対話型の授業を行いたい。						
授業計画	<p>第1回 憲法とは：憲法とは、大日本国憲法と日本国憲法、日本国憲法の制定過程、憲法の三大基本原則 第2回 天皇制と憲法改正：天皇制、憲法改正 第3回 憲法第九条と平和主義：第九条、平和主義、第九条をめぐる裁判 第4回 人権総論：人権保障の分類、人権の分類、人権の内容、人権の享有主体、人権の限界と公共の福祉 第5回 包括的基本権：幸福追求権の法的性質、プライバシー権利、人格権、自己決定権、環境権 第6回 平等権：法の下での平等、 判例①尊属殺人重罰規定 ②非嫡出子相続分規定事件 ③女性の再婚禁止期間など 第7回 精神的自由権(1)：精神的自由の全体像、思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由 第8回 精神的自由権(2)：表現の自由、 判例①名誉棄損的表現、②性表現、③営利的表現、④知る権利、⑤報道の自由 第9回 経済的自由権：経済的自由の全体像、職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権、判例 第10回 人身の自由：人身の自由、適正手続の保障、被疑者・被告人の権利、判例 第11回 社会権：社会権の全体像、教育を受ける権利、勤労の権利、勤労の権利、労働基本権、能動的権利 第12回 国会：国会の地位、国会の組織と活動、国会の権能と議院の権能、国会議員 第13回 内閣：内閣の地位、内閣の組織、内閣の権能、内閣の責任・総辞職、衆議院の解散 第14回 裁判所：司法権の範囲と限界、裁判所の組織と権能、司法権の独立、違憲令審査権 第15回 地方自治：地方自治、地方公共団体の機関・権能、条例制定権、地方住民の権利</p>						
授業の到達目標	憲法の基礎と基本について学び、具体的事案である判例を考察して実践的応用力がつくようにする。						
授業時間外の学修	<p>次回の講義項目をテキストで予習し、講義内容の把握と専門用語の意味を理解しておくこと。また、受講後は更に理解を深めるために必ず復習をすること。最低60分の時間を使っていただきたい。</p>						
課題に対するフィードバック	小テストを実施した場合には、解説を行い採点後に答案を返却する。			評価方法	<p>以下の項目に基づいて獲評価する。</p> 1)出席 -10点 2)授業態度 -10点 3)最終試験 -80点		
テキスト	授業プリント						
参考書	『日本国憲法』 渡邊譽著 北樹出版 2800円(税別)						
備考	授業感想を出席管理に使用する						